
無題詩 18

蟻塚つかっちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無題詩18

【コード】

N1368U

【作者名】

蟻塚つかっちゃん

【あらすじ】

アンタイトルポエムス18

ゴシッククロリータを纏い、
右手には「眼球譚」、
左手には「未来のイブ」、
耳にはイヤフォン「孤独のなかの神の祝福」、
頭には死を象ったカチューシャ、
足元には嘘を模したブーツ、
折れそうな腕で何を掴もうというの？
空を抱く彼女の手には、
聖痕が空しく輝く、
脆弱なその少女を、
月夜が笑い、
黄昏が嗤う、
世から外れ一人塔の中、
幽閉されるのは心地良いですか、
それとも戦いたいですか、
されどその呪縛は解かれず、
その祝福を受け入れない、
眩い光が降り注いでも、
永遠に抜け出せない束縛、
薔薇の馥郁たる香り、
月光の玲瓏なる奏、
楽園を求めず、
自身を犠牲にする、
その教義は、

自身を暗澹に陥れるだけ、
罅割れた塔に、
救済はなく、
ただ崩れ落ちる絶望の中で、
無傷で何も得られない、と、
何度も試練に立ち向けど、
阻む十字は、
彼女を麻痺させ、
鈍麻する彼女は、
偽りの杯を手にする、
満たされた毒を飲み、
この憂き世からさようなら、
天逝した彼女に、
天国でいい子になりなさい、と、
聖母は祈り、
この詩を送る、
潰れたような譚詩曲、
黒く消された彼女の瑩域に、
ただ薄汚れた一片の雪が、
ひらりはらりと舞う、
それはまるで神の偽善のよう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1368u/>

無題詩 18

2011年10月9日02時57分発行